

製品名: EphB4 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80544

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	EphB4
別名	HTK; MYK1; TYRO11
遺伝子 ID	2050.0
SwissProt ID	P54760
免疫原	大腸菌で発現した EphB4 の精製された組み換え断片。

背景

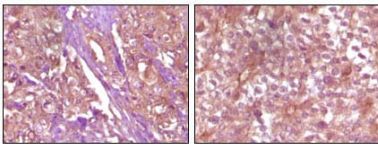
EPH 受容体 B4 (EphB4) は、987 アミノ酸 (約 108kDa) のタンパク質から成り、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。Eph 受容体チロシンキナーゼとそのリガンドであるエフリンは、発達期および成体組織におけ

る多数の生物学的プロセスを制御し、癌の進行や病的な血管新生に関与していることが示唆されています。EphB4は、血管の分岐および血管網形成を抑制する因子として作用し、血管新生プログラムを血管新生の芽生えから円周方向の血管成長へと切り替えます。EphB4とそのリガンドであるエフリン B2は、いくつかの種類の腫瘍細胞に発現し、腫瘍形成と相関しています。そのため、EphB4は、いくつかの種類の腫瘍における疾患転帰の予測因子として、また新規治療法の標的として有望な候補です。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト膵臓癌（左）および乳癌（右）組織の免疫組織化学分析。DAB染色による EphB4 マウス mAb を使用して、膜および細胞質（膵臓癌）の局在、膜（乳癌）の局在を示しています。